

社会に開かれた教育課程（1）

以前にも少し書きましたが、小中学校に続き高等学校でも今年度から1年生より年次進行されている新しい学習指導要領について、その理念に「社会に開かれた教育課程」があります。教育課程というのは学校教育の目的や目標を達成するためにどのような教育をしていくかということと授業実数との関連において組織したいいわゆる各学校の教育計画です。

では、なぜ、今「社会に開かれた教育課程」の実現が求められるのか？それは次のように言われています。

『社会のつながりの中で学ぶことで、子どもたちは自分の力で人生や社会をよりよくできるという実感を持つことができる。このことは変化の激しい社会において、子どもたちが困難を乗り越え、未来に向けて進む希望や力になります。そのため、これからの学校には、社会と連携・協働した教育活動を充実させることが求められます。』

社会に開かれた教育課程のポイントの一つに「**地域と連携・協働しながら目指すべき学校教育を実現する。**」というのがあります。今、本校の体育科2年生が地域の幼稚園と連携し「スポーツ総合演習」（課題研究）を行っています。1学期に「幼児への運動指導」について調べ学習を行い、2学期に地域の幼稚園である塚口幼稚園と立花幼稚園の協力を得て、**実際に幼稚園児に運動指導を行うことで、人間的なふれあいから得られるものや、運動を指導することの難しさや大切さを学ぶとともに、自分の専門種目についてもより深く考えるきっかけとなることをねらっています。**実際に幼児とふれあうことで、生徒が幼児の発達特性や身体特性を直接、間近で感じることができ、運動指導についてもより深く考えることができる**貴重な学びの場**となります。今後とも、このように「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた教育活動を行っていきたいと思います。（※末尾に両幼稚園のHPを掲載しています）









各幼稚園でも HP に掲載してくれています。



尼崎市立尼崎高等学校の
お兄さんお姉さんと一緒に！



「楽しかった！」

7日、年長組は今年度2回目となる市立尼崎高等学校への訪問で、高校2年生の生徒の方々と一緒に遊びました！

授業の一環としてお招きいただき、子ども達はお兄さんやお姉さんが考えた遊びを一緒にしました。優しく接してくれるお兄さんへの憧れの気持ちをもったり、親しみを感じたりする交流となりました。

体育館での遊びの後は広いグラウンドでおにぎり弁当を食べ、出会えたお姉さん達と一緒に遊ぶことができ、大満足で園に帰ってきた子ども達です。楽しい交流をありがとうございました！



立花幼稚園

高校生の考えた運動遊びを体験！！

年長ばら組が、尼崎市立尼崎高等学校に行きました。

高校生のお兄さんやお姉さんとの交流は初めてです。

ドキドキしている子どもたちに優しく声を掛けてくれたり、かがんで目線を合わせて話を聞いてくれる高校生の姿がありました。

チャイムがなっていよいよ授業が始まりました。

体育科の高校生の皆さんが幼児向けに考えた運動遊びを子どもたちが体験しました！

ボールを使ったドリブル走、フープを回しながら歩いたり…運動用具を使っていろいろな身のこなしができるように考えてくれていました。

また、ジャンケンゲームを取り入れた遊びながら体を動かすプログラムや、幼稚園で経験している“しっぽとり”も楽しみました。

高校生の皆さん、ありがとうございました！！

ロビーにたくさんのトロフィーやたて、賞状があってビックリ！！「あっ！野球の写真や」「大きいトロフィー初めて見た！」「お兄ちゃんやお姉ちゃん、すごいな～」と憧れの気持ちがいっぱいです。

